

# Japaneseman In NY (ニューヨーク生活)



Central Park, New York City

## 《ニューヨークのクリスマス》

今回はニューヨークのクリスマスについて。このコーナーで何度か触れたことがあったが、ニューヨークのクリスマス・シーズンは格別。一番有名なのは、ロックフェラーセンター・クリスマスツリーで、マンハッタンのミッドタウンに佇むロックフェラーセンターに毎年冬に飾られる大きなクリスマスツリーだ。毎年11月下旬から12月初旬、サンクスギビングデーの翌週の水曜日に設置・点灯され、ツリーのサイズは高さ69~100フィート(21~30m)、木の種類は“オウシュウトウヒ”と決められているらしい。

行われているようだ。個人的には、このクリスマスツリーにはそれほど興味はなく、クリスマス・シーズンになるとレストランでのウェ이터の仕事が忙しくなることもあり、たまたま通り掛かってチラ見た程度だった。

近年はこの点灯式がNBCの番組「Christmas in Rockefeller Center」でライブ放送され、アメリカ全土に放映され風物詩のようにになっている。当時は知らなかったが、この行事は自分がニューヨークに渡った年、1993年から毎年

当時はウェ이터のチップで生計を立てていたため貧乏だったが、クリスマス・シーズンになるとマンハッタン中の通りやお店にクリスマス・ツリーや装飾がなされて、歩いているだけでワクワクして優越感に浸ることができた。また、雪が降ると街の景色も変わり、一段とロマンチックな雰囲気になったが、ニューヨークのクリスマスで何よりも好きだったのは冬のセントラル・パークだった。セントラル・パークは暮らしていたアパートから歩いて10分弱の距離だったため、クリスマス・シーズンでなくとも庭みたいな感覚で年中足を運んでいた。

一度だけ、冬のセントラル・パークでオノ・ヨーコさんに遭遇したことがあった。ヨーコさんがジョン・レノンと暮らしていた有名なダコタ・ハウスは南北に走るセントラル・パーク・ウェストとウェスト72丁目~73丁目の角に立地して、目の前がセントラル・パークだった。自分もよくウェスト72丁目からダコタ・ハウスを横切ってセントラル・パークに入っていた。冬のセントラル・パーク内を歩いていたある日、前からヨーコさんが歩いて来た時はデジャブのようにジョンの名曲「ウーマン」のPVが頭に浮かんだ。ヨーコさんはひとりでなく、年配の白人男性と一緒にいたのだが、あれは一体誰だったんだろう？

当時のセントラル・パークには、クリスマス・シーズンになっても巨大なクリスマス・ツリーなどが登場するわけではなく、むしろ静けさが漂う感じだったが、より格別なのは雪が降った時だった。ウェスト72丁目からパーク内に入って坂を下ると大きな池があるのだが、真冬には池の水が凍ってスケートリンクのようになる。池の周りに所々ベンチがあり、池を挟んでダコタ・ハウス側が見渡せるベンチにぼんやりと座していると、雪化粧のセントラル・パークの背後に趣のある建物が並ぶ景色が見渡せる。この景色はニューヨークのクリスマスの中でも最高だった。ド派手なクリスマス・ツリーなど必要なく、まるで映画のワンシーンを見ているような格別な風景だった。

そんなニューヨークのクリスマス・シーズンのロマンチックな思い出に浸りながら、あの時オノ・ヨーコさんと一緒に歩いていた年配の白人男性…、あれは一体誰だったんだろう？と思う今日この頃です。

## Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

### Elvis Aloha From Hawaii Statue

#### エルヴィス アロハ・フロム・ハワイ像

今回はホノルルのダウンタウンにある複合施設ニール・ブレイズデル・センターに佇む「エルヴィス アロハ・フロム・ハワイ像」。1973年1月14日にエルヴィス・プレスリーが史上初となる衛星中継コンサート“アロハ・フロム・ハワイ”を開催した場所こそがこのニール・ブレイズデル・センター(当時はホノルル・インターナショナル・センター)。金色に輝く等身大の銅像は、エルヴィス没後30年を記念して、地元テレビ局“TV Land”が寄贈したもので、今でも多くのファンが訪れ、聖地となっている。

#### 《ハワイな一枚》



ミュージック・オブ・ハワイ、1929-1952

Various Artists

Harlequin [Import CD]

1929年から1952年の間にリリースされた10組のアーティストやバンドたちによって演奏された極上のハワイアン・ミュージック21曲を収録したコンピ作品。